

令和4年度第2回滝沢市上下水道事業経営審議会

追加資料：水道事業ビジョン検討事項

【ビジョン】

- ・本文中に水源や施設の名称が多く記載されるので、早い段階で水源や施設等の紹介ページを設ける。
- ・広聴広報について『水道事業者 ⇒ 水道利用者』の観点が強いので、事業者と利用者との双方向コミュニケーションについて検討。
- ・水道利用者の不満、改善要求に対してどのように対応したのか、利用者の意見を反映している部分を伝える観点が必要。
- ・特に2035年から人口減少が急速に進むが、2035年を迎える前に水道事業体としての体力をどのくらい蓄えておけるのか方針を示す。
- ・『第4章 水需要の見通し』の次に『更新需要の見通し』の章を設けて、アセットマネジメントの結果の概要等を掲載する。
- ・水源の保全について、外国資本による水源地買収対策に関する記載を検討。

・ p. 6-2 水循環モデル

水収支の算出について。

(今回の審議会資料では一旦掲載を削除していますが、滝沢市の水道水源である良質な地下水が豊富に存在するという情報については、表現を検討してビジョンのどこかに掲載したいと考えています。)

・ p. 6-6 水道管路の改良・更新

これまでにどこを更新してきたのか、今後どの部分を更新していくのか、具体的に把握できるような資料が提示されると理解しやすい。

・ p. 6-8 漏水防止対策の推進

漏水の早期発見をどのように実現するのか、漏水調査業務を受託している民間事業者のノウハウの活用などに関する記載を検討。

・ p. 6-10 応急給水体制・復旧体制の構築

緊急時に水道事業者が「実施すること」は記載されているが、利用者に与える「安心」をどう確保し、どう伝えるか、という視点が欲しい。

- ・ p. 6-12 広聴広報の充実

出前講座、施設見学会、ともに申込者からのアクションにより実施されるが、事業者からの積極的なアクションにより実施しているものがあれば、そういうものもやっていることをアピールすることを検討（厳寒期前の県立大、盛大で実施している水道管凍結防止講座など）。

- ・ p. 6-16 職員能力向上と技術の継承

職員能力向上には業務受託者である民間事業者についても当てはまる。水道利用者に業務委託の実態、成果がわかるようにしたい。次期業務委託契約の際に業務評価の公表等も考慮する。

- ・ p. 資-1～ 用語解説

誤字脱字等の訂正。説明項目の見直しと説明文の修正。

【中期経営計画】

- ・ p. 8 アンケート調査結果と今後の展望について

「水温が高くてなまぬるい」の対策として、常時ドレン排水等をおこなっているのであれば、効果は限定的であっても、何らかの対策を講じていることをアピールすることを検討。

- ・ p. 9 水道施設の老朽化や更新

水道料金の値上げに関する観点ばかりではなく、耐用年数（更新基準）のさらなる見直し等、事業者として何らかの対策を考えている点についても記載することを検討。